

Sotaとは始める /

プログラミング

郡山女子大学附属
高等学校

研究部（特別進学クラス）の生徒たち。

活用の様子

公益財団法人福島県学術教育振興財団の助成事業として行っている双方向型ロボット「Sota（ソータ）」を活用した地域貢献活動をする中で、SDGs（持続可能な開発目標）の実現を目指して、郡山市と学術連携を結び、校内のごみ分別をサポートするロボットをプログラミング。ロボットを用いて「楽しくごみの分別を学ぶ」ことができないかと考え、ごみの分別や家庭でのごみの減量に関心を持ってもらうことを目指しました。

研究部

（特別進学クラス）

Sota®



Sota（ソータ）はヴイストン株式会社の登録商標です。

発表：ロボットで解決 ごみ問題！ -学校のごみ分別を徹底するために-

研究の計画と方法

- ① 先生や自動販売機の業者の方へ取材
- ② 郡山市役所へ「正しいごみの捨て方について」取材
- ③ プログラムの作成（シミュレーションと改修の繰り返し）
- ④ 全校生徒を対象とした1週間の設置と調査

キャップやラベルが
そのままに!?

テーマを選んだ理由

- ・ペットボトルを捨てる際、キャップやラベルを剥がすことが徹底できずに校内で問題となっていた。
- ・福島県では東日本大震災以降、全国でごみの量がワースト2位、リサイクル率もワースト2位。
- ・プラスチックごみは全世界において問題となっている。

研究部について

特別進学クラスの生徒を中心とした創部2年の部活動。これまでに消毒や黙食を促すSotaや、学校紹介をするSotaをプログラミング。また、市内の児童クラブにおいてプログラミング教室を実施するなど、**ロボットを活用した地域貢献活動**をしています。「ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」にて**社会貢献賞受賞**。「中高生探究コンテスト」準決勝進出、「SDGs Questみらい甲子園」決勝進出など多くのコンテストに挑戦。



学校紹介でPR活動&児童クラブでのプログラミング教室の様子

©2023 Zetta Linux Inc.